

## 小学4年生が落ち着いて授業を 始めたいするための工夫

### - 折れ線グラフによる フィードバックの効果 -

小野寺 謙                      野呂 文行  
( 神崎町立神崎小学校 )      ( 筑波大学心身障害学系 )

JABA2004 ポスター発表



## はじめに

\* 小学校第4学年の算数では、折れ線グラフを学習し、関数的な関係を表したり、その特徴をとらえたりする。

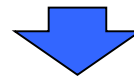
### D 数量関係

- (1) 伴って変わる二つの数量について、**それらの関係を表したり調べたりすることができるようにする。**
- (3) **目的に応じて資料を集め、分類整理したり、特徴を調べたりすることができるようにする。**

( 小学校学習指導要領より )

\* **折れ線グラフ**によるフィードバックによって、**集団の不適切行動を減少**させた介入

佐藤ら(2001); 迷惑駐輪を減らすため  
注意を促すコメント、折れ線グラフ、  
結果に関するコメントを盛り込んだ  
ポスターを掲示し、効果を挙げた。



**小学4年生の学級全体を静かにさせるための  
介入にも応用可能ではないか!!**

## 方 法

1. 対 象 : 小学4年生の通常学級  
( 在籍23名、3年からクラス替えなし )

### 2. 場 面

授業開始・終了のチャイム

日直の号令「気をつけ」                      **タイム測定**  
日直が「      さん」と注意  
( 騒がしい児童がいた場合 )  
日直の号令「礼」( クラス全体が落ち着いたら )  
全員であいさつ

### 3. 手続き

#### 1) ベースライン

担任からの特別な働きかけなし。

#### 2) タイムのフィードバック

あいさつが終わった後に、担任は『「**気をつけ**」から「**礼**」までの**タイム**』を口頭で伝えた。



**秒でした。**

### 3) 折れ線グラフの学習 (6時間)

算数の時間に、教材のひとつとして、『「気をつけ」から「礼」までのタイム』を使用。

- ・変化の様子を読み取る。

タイムの一番早い日 / 遅い日

折れ線の形、 変化の割合の大きい日

- ・タイムフィードバックを始めた日に縦線を引き、 その日に何が起きたのか、 その前後でどのような変化があったか、を考える。

### 4) 折れ線グラフによるフィードバック

帰りの会で、その日の平均タイムをグラフに書き込み、変化の様子を口頭で伝えた。



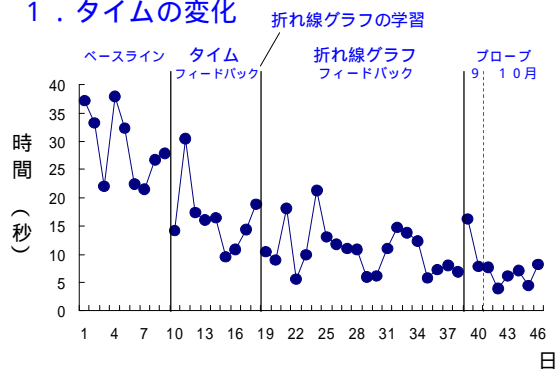
今日は下がったね。

### 5) プローブ

長期休暇後、ベースラインと同様の手続き。

## 結果

### 1. タイムの変化



### \* 担任 (介入者) の意図

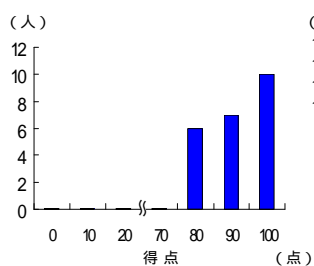
日直 「気をつけ」 「礼」  
全児童 ガヤガヤ 静かにする 「おねがいします」

### \* ある日の日直 A さんの意図

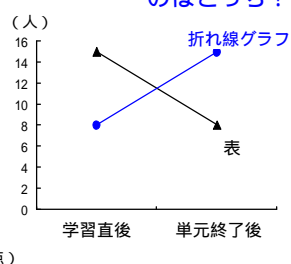
日直 「気をつけ」 「礼」  
全児童 ガヤガヤ 「おねがいします」 静かにする

### 2. 折れ線グラフの学習

#### \* 単元末テストの結果



#### \* 変化がわかりやすいのはどっち?



## 考察

- ・ 小学4年生の集団を対象としても、折れ線グラフによるフィードバックの効果を期待できる。
- ・ 本学級の児童の全員が折れ線グラフの読み取り方を習得したが、このことがフィードバック効果の必要条件になるのかどうかは明らかにならなかった。